



懇談会でお伝えしたかったこと

4月がスタートして学校が始まり学童の子どもたちが午後から来るようになって、月極のメンバーで過ごす時間ができました。今までどれくらい卒園児にリードしてもらって過ごしていたかを体感することになった子どもたちです。

遊びのきっかけが作れなかったり、遊びがうまく続かなかったり、けんかの交通整理をしてくれる友だちがいなかったり、お片付けの声掛けをしてくれる友だちがいなかったり、なかなか片づけにならなかったり、お片付けをリードしてくれる友だちがいなかったり、散歩に行くにもリードしてくれる友だちがいなかったり・・・

新しい自分たちの生活スタイルの始まりです。

最初は、なかなかエンジンがかからなかった子どもたちでしたが、自分たちがしないと・・・という意識がでてきました。

誰かがしてくれると思うと気に入らない、何度も何度も言われるからスルーしてしまう。今までは、最終的に卒園児が片づけできないところを片づけてくれました。家庭だと最後はお母さんが片づけてくれます。そんな光景ありませんか？子どもたち自身が意識して行動していかないと、自分で考えて行動できなくなってしまいます。指示されるのを待っている子どもになってしまいます。何もしない子どもになってしまうのです。うまく逃れることを覚えてしまいます。

お片付けが一番わかりやすいのですが、「今日、おうちに帰る人はお片付けしてください。お泊りする人は、かたづけなくてもいいです。遊んでいてください。」今日、泊まるかどうか・・・一大事です。「泊まらないからかたづけよう」と唱えながらものすごい勢いで片づけがスタートします。「お茶会する人は片づけましょう」の一言も片づけに力が入るキーワードです。あっという間に、あんなに散らかっていたお部屋がきれいになります。意識の問題です。

大人はいろいろな経験からたくさん情報を持っています。子どもたちの行動をみていると注意したり、指示をしたくなってしまいます。それらがし過ぎになると子どもたちの耳から言葉を消してしまいます。「ただー」と思うと聞いていても自然にスルーしてしまうのです。聞いていない自分も分からないかもしれません。

人の話をちゃんと聞いて、自分で考えて行動するには、大人のアドバイスを少なくすること、自分の責任の下に行動する事が大切です。自分で判断して行動する事には自分に責任があるのです。誰が悪いのではないのです。自分で判断したのですから・・・

そして、買ってあげる・・・したら●●してあげる・・・など物でつらないことです。子どもたちが正しい判断が出来なくなるからです。

子どもたちの新しい生活スタイルがうまく構築していけるように援助していきたいと思えます。

基本保育時間は

7:30~18:30です。

7:00~7:30、

18:30~19:00

の利用の場合は、
お知らせください。



《お 知 ら せ》

○これからお天気の良い日が続くと思います。天気の良い日には、外に出かけたいと思っています。水筒に飲み物の準備をお願いいたします。

水筒にも名前を付けてください。また、肩から水筒が下げられるようにご準備ください。

○気温差が激しい日が続いています。洋服の着脱で体温調整ができるように、着脱しやすい服装をお願いいたします。

